

麻黃湯が有効であった 少女夜尿症1例

『漢方の臨床』62巻6号(2015)別刷

許　　志　泉

麻黄湯が有効であつた少女夜尿症1例

富士堂東洋医学研究所 許志泉

はじめに

夜尿症に麻黄湯が有効であるとの報告が散見する。筆者は麻黄湯を1年4カ月間連用して生まれつきの夜尿症を治癒したので報告するとともに、さらに麻黄体质、麻黄湯証を考察する。

症例

【症例】女性、9歳。身長143cm、35kg

【愁訴】夜尿症

【既往歴】特になし。ベシケア、ツムラ小建中湯が投与されたが、夜尿症に無効であった。

【現病歴】生まれつきの夜尿症で、ほぼ毎日夜尿1～2回。成長につれ本人も恥ずかしいと感じて治療したく、親

戚のご紹介で来院。

【来院時所見】夜尿症以外に、平素鼻血が出やすい、運動はあまりしない、汗が出にくい、筋肉痛が出やすい。肩こり、ゲップ、全身が冷えやすいが、暑くてのぼせを感じることもある。便通やや硬い。腹力中、脈力中。

【治療経過】

X年3月30日初診.. 麻黄湯刻み煎じ薬（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草1.5g）14日分。

X年4月15日.. 上記漢方を服用してから、4月3、4、6日の3日間に夜尿がなく、他の日にあつた。生まれて初めて3日間夜尿がなく大変喜んだ。鼻血が出なかつた。X年5月11日.. 4月中に夜尿症は3日間あり、3日間ないという状態で、毎日あつた夜尿症は半分程度になつた。5月1～10日に2回しか出なかつた。筋肉痛も軽減。便も

改善した。麻黄湯煎じ薬35日分。

X年6月16日～4月中17回、5月に10回、6月1～16日まで2回の夜尿がでた。鼻血も筋肉痛もない。週一回水泳、一回チアダンス。麻黄湯煎じ薬44日分、クラシエ麻黄湯工キス2日分（1日2包）。クラシエ麻黄湯工キス・3包30g中、麻黄湯工キス800mg・マオウ・キヨウニン各25g、ケイヒ2.0g、カンゾウ0.75gより抽出）。

X年8月3日～7月中13回夜尿。その中に4泊5日間旅行中にも2回夜尿があつた。便秘がときにある。麻黄湯加厚朴硫酸マグネシウム31日分。

X年9月7日～8月中8回、9月1～7日に2回。麻黄湯煎じ薬29日分、クラシエ麻黄湯工キス3包分3、6日分。X年10月12日～9月中15回。10月1～12日に1回。2回鼻血が出た。体育で昨日より筋肉痛があつた。麻黄湯加茯苓蒼朮（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草15g、茯苓3g、蒼朮3g）35日分。

X年11月16日～前回より3週間に3回夜尿があつた。その後風邪で感冒薬を飲んでいた10日間に週4回の夜尿があつた。風邪を引く前に鼻血が出た。痰はそれほどないが、咳が残っている。鼻づまり（+）、くしゃみ（+）、眠たい（+）。悪風惡寒はない、咽頭痛はない、筋肉痛はない。口渴もない、胸苦しいことはない。平時体温35度台。

柴朴湯加桂皮7週間（先に服用）、麻黄湯加茯苓蒼朮21日分。

X年12月14日～11月に半分の日に夜尿があつた。12月1～14日の間に11日間夜尿があつた。12日より風邪でやや咳がある。痰はない、鼻血は出なかつた。週1回水泳。舌紅苔薄、脈中。腹症はない。麻黄湯（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草2g）35日分。

X+1年1月18日～この4日間に夜尿症はなかつたが、その前に週5～6日夜尿があつた。寝るところが冷えて寒い。便秘があり、コロコロする、野菜が好きではない。麻黄湯加厚朴硫酸マグネシウム（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草2g、厚朴2g、硫酸マグネシウム3g）35日分。

X+1年2月22日～身長150cm、体重40kg、生理はまだ発来していないが、体型が変わってきてているらしい。前回電話後の1週間および最近の3日間に夜尿はなかつたが、他の日にほとんど夜尿があつた。一週間前にインフルエンザに罹った（その期間でも食欲がある）。夜寝ることが遅い、朝起きにくい。越婢加朮湯（麻黄3g、石膏8g、蒼朮3g、甘草2g、生姜1g、大棗2g）28日分で観察する。

X+1年3月22日～最近の漢方はほとんど効いていない、最初の漢方は効いたようと思うと電話があつた。肩こり・筋肉痛がよく出る。食欲がある。改めて最初の麻黄湯（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草1.5g）35日分。

X+1年4月26日：前回の漢方が効いた。この2週間は週2回しか夜尿がなかった。麻黄湯（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草2g）42日分。

X+1年6月7日：この2週間に夜尿は1回しかでなかつた。その前の2週間に3日間一回の頻度であつた。

「効果が確実に出ていて、やはり最初の漢方が効く」と話してくれた。

11歳で、生理はまだ発来していない、体が大きくなり、乳房も大きくなつていると母が言う。麻黄湯（麻黄3g、桂皮3g、杏仁4g、甘草2g）28日分。

X+1年7月10日：6月7日～7月10日の間に夜尿は2回しか出なかつた。効果が顕著に出た。同处方35日分。

X+1年9月18日：前回電話以来の1カ月間に一度も夜尿症がなかつた。これで漢方療法となる。

考 察

1. この症例の夜尿症に対する治療が効いた

この症例の治療経過を振りかええてみると、過活動膀胱の治療薬ベシケア及びツムラ小建中湯の治療を受けたが無効であった。最初の麻黄湯服用の14日間には、今まで毎晩あつた夜尿が3日間出なかつた。その後、効果が持続していなかった。X年12月までに夜尿の回数は半分になつたが、X+1年1月冬に入つてから夜尿がまだ増えていた。詳し

く聞いたら、患者の寝室が北向きでかなり寒いということが判明した。X+1年2月にインフルエンザ後に越婢加朮湯に変方したが、夜尿症への効果は後退した。3月再び麻黄湯原方で治療したところ、速やかに改善し、ついに完治に至つた。

2. 麻黄生薬使用量

この症例の治療では、クラシエ麻黄湯エキス20包以外、使用した麻黄生薬合計154.1・5gとなつた。毎日3g服用したが、何の副作用も出なかつた。

3. 麻黄体质について

筆者はいつも臨床に有意義に役立つ体质分類を探求し続けてきた。体质を生薬で名付けて、麻黄体质・桂枝体质・柴胡体质・半夏体质・大黄体质・石膏体质・地黄体质・黄耆体质・乾姜体质・複合体质・不明体质に分類する。筆者は麻黄体质を以下のように規定している。

麻黄体质

【汗・皮膚】 汗が出にくいか無汗、皮膚は乾燥してやや粗い。夏や運動後に汗が出ると調子がよい。冷えると体調が増悪しやすい。

【鼻・気道】 鼻が詰りやすい、鼻水・痰・咳嗽や喘鳴がでやすい。鼻衄があることがある。

【顔色・体格・体力】 顔色が暗黄色でつやがない、体格が中等かやや太り傾向、体がこりやすい（例えば肩こり）が、平素に体力がある。

【消化器】 食欲があり、胃腸が丈夫である。

【浮腫・尿・便】 浮腫傾向、尿不利（排尿回数減少・夜尿）、便秘・軟便（下利）が時にある。

【口・舌】 口の乾きが出やすいが、舌が湿润で、苔がある。

【行動や神経】 身体が重くなりやすい、反応が比較的に鈍感である、時に傾眠。

【特徴】 表閉

麻黄体质は体质的に（長期的に）表の閉塞（無汗・鼻づまり）により、気の鬱滞（肩こり・顔色暗黄・便秘）や水滯（鼻水・痰・咳喘・軟便・下痢・尿不利）や鬱熱（鼻衄、口の乾き）などが高頻度に出現する。

この症例は平素汗が出にくい、筋肉痛、肩こり、鼻血がよくなる、便秘がち、冷えたら風邪を引くが、また体と体温に暑く感じることなどで、麻黄体质を判断して最初から麻黄湯で治療することを筆者が確信したわけである。

4. 麻黄湯証のについての考察

筆者は体质(Constitution)・症候(Symptom)・病(Hu-

ness)の三つの方面から方証を定める方法を提唱した。⁽¹⁾ 麻黄湯証について、以下のように規定する。

麻黄湯証

【体质と病態】 麻黄体质、外感病太陽病期

【症候】 無汗・汗が出にくい、悪寒・寒がり、身体重痛、脈浮緊などを伴う以下のもの。

- ①熱性病の初期悪寒、発熱、無汗、身体痛（頭痛・腰痛・関節痛）、脈浮緊有力、或は鼻塞、或は咳喘。
- ②小児の鼻閉、夜間鼻閉
- ③咳喘
- ④夜尿症
- ⑤乳汁分泌不足
- ⑥関節痛
- ⑦難産
- ⑧鼻血
- ⑨蕁麻疹
- ⑩高血圧症

【病】 感冒、インフルエンザ、関節リウマチ、喘息、夜尿症、乳汁分泌不足、難産、鼻血、高血圧症など

要するに、麻黄湯は外感病のみではなく、麻黄体质のい

くつの病態にも適応することは前人の経験および臨床事実から証明された。体质の概念が理解できなければ、夜尿症や蕁麻疹、さらに乳汁分泌不足・鼻衄・高血圧症にも効くことは到底理解できないであろう。

麻黄湯が夜尿症に効くことがあり、これは数多くないが臨床事実である。ただ、夜尿症に桂枝加竜骨牡蠣湯や小建中湯も効くことがある。臨床ではどう鑑別するかについて、体质の判断がとても大切だと痛感している。

まとめ

麻黄湯が夜尿症に効くことは麻黄体质が重要な条件となる。麻黄湯証は外感太陽病のみならず、麻黄体质が理解できれば、麻黄湯の応用範囲がより広く、応用精度もよりあげられるであろう。

麻黄湯煎じ薬に使用した生薬は高砂薬業株式会社より提供された麻黄（中国産）、桂皮（ペトナム産）、杏仁（中国産）、甘草（中国産）であった。

文 献

- (1) 許志泉：証の決め方——証の三要素、平成23年度日本東洋医学会 第68回関東甲信越支部学術総会抄録集、P50、2011
(医学博士：〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-1)

肩こりのうた

おそぞ未病研究室 小曾戸 明子

最近の自験例にかえて「肩こりのうた」八首送ります。
肩こりに無縁なれ吾れと思ひきてこの日はじめて
岩の肩背知る

古希近く身仕まくせむとからだケア企業せる

友に出あふ縁あり

一枚のちらしをよみて氣の動く吾れより始む未病研究
全身を触れてさすりて凝りをみて課題ひとつを
一所に置けり

背にふれてさらに強める掌の圧に快でもなくて
不快でもなし

感覺のなきまでに凝る吾が肩背かつての
母の丸き背思ふ

九十歳母の肩背の丸くなり固まりゆくを
なすすべなせず

自覚なき肩こりとふは誰が診るリフレクソロジスト
頼みとなれり

(医師：〒193-0833 東京都八王子市めじろ台4-2-7)